

○ 16世紀のドイツ、片田舎

今日は村祭りの日である。
村の広場ではワインの樽が開けられ、
人々が歌い踊り、楽しんでいる。
ひとときわ皆の輪が厚いのは、騎士同士
の「決闘」である。
模擬剣を使って殴り合う甲冑の二人に、
熱狂する人々。
人だかりの中に、マリ―（23）。

父と母が連れてきた。

マリ―「で、その男ってどっち？」

赤装束の騎士が、一方を組み伏せ、勝利。

父 「勝った方だ」

赤騎士、兜を脱ぐ。

なかなかの美丈夫である。

父 「（家柄の話をはじめる）」

（マリ―と顔の話でもめる。
ここでどうしてマリ―が顔にこだわる
かも示しておく）

赤騎士「やあ未来の妻よ」

（赤騎士ともめる、何かのエピソード）

○ 翌日、田舎道

マリ―「こうなったら、自分で理想の男を探
しに行くんだから！」
荷物を大量に抱え、一人で歩くマリ―。